

# 平成19年度事業報告書

平成20年3月

広島経済同友会

1500万人委員会

# 目 次

## 1. 「ひろしま観光交流博士」称号名刺贈呈事業

イ) 事業概要

ロ) 各施設入館人数集計表

ハ) 総括

## 2. 「みんなで創るひろしま観光ポスター」製作事業

イ) 募集要項

ロ) 報道記録

[別添PDF参照](#)

ハ) 総括

二) 応募作品集

[みんなで創るひろしま観光ポスター」応募作品集ページ参照](#)

## 1. 「ひろしま観光交流博士」称号名刺贈呈事業

### イ) 事業概要

平成18年度の事業初年度を経て、更なる「博士」の増員、利用可能施設の拡大を働きかけた結果、広島市現代美術館、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）の参加をいただくことができ、また「博士」は169名から、256名に増加しました。また、各美術館の利用についても、昨年度は常設展のみの利用に限定されていましたが、本年度は常設展、企画展など年間を通じて特典が受けられるよう、各施設のご協力をいただくことができました。

その結果、昨年206だった総利用度数は、本年576に増加することができました。ただその一方で、利用実績については、利用実績を挙げている「博士」と全く実績を挙げていない「博士」がはっきりとしてきたのも事実です。

また、本年の利用実績からも判りますが、大和ミュージアムへの利用度が全体の半数近くに達しています。

この2点は今後の贈呈事業の方向性を検討する上で、大きな要素と考えられます。

### ロ) 各施設入館人数集計

	県立美術館	縮景園	ひろしま美術館	現代美術館	大和ミュージアム	合計
7, 8月	21	26	15	7	86	155
9月	9	16	9	0	60	94
10月	2	18	4	0	64	88
11月	13	17	2	0	34	66
12月	24	8	9	2	8	51
1月	4	4	5	2	21	36
2月	3	8	4	2	18	35
3月	10	4	5	0	32	51
合計	86	101	53	13	323	576

## 八) 総括

観光振興に取り組むにあたり、広島経済同友会が「人」に注目するには大きな根拠があります。平成16年に実施した、「広島三昧倶楽部2004」の参加者アンケートで、

西条の酒蔵・観光施設の満足度	265P	ボランティアガイドの良さ	246P
三原の観光ルートの満足度	58P	ボランティアガイドの良さ	79P
竹原の町並み保存地区の満足度	119P	ボランティアガイドの良さ	187P
呉の観光コースの満足度	96P	ボランティアガイドの良さ	186P

が示すように、ハードとしての施設の満足度もさることながら、地元の「人」とのかかわりというソフトが、来訪者の満足度に大きく寄与することを学びました。一方で、週刊ダイヤモンド誌の統計でも取り上げていましたが、ボランティアガイドの全国の平均人数は1県当たり666人ですが、島根県616人、広島県559人となっています。広島県には、郷土が好きで郷土のことを勉強している、来訪者に好意として、ガイドをしてあげようという人が、単純に少ないという現状を表しています。これは、島根県の人口約70万人、広島県の人口約280万人を考慮しますと、更にゆゆしき状況と言わざるをえないのではないのでしょうか。そのような中で、来訪いただいた方々に、広島の満足度を高め、いい印象を得ていただくためにできることは何か、ということで取り組み始めた事業です。

ボランティアガイドではなくても、広島都市圏への来訪者に接することが、職業的に或は立場上多い方々が、誇りをもって接していただき、名刺を受け取った来訪者が広島のホテルリティを感じていただくことを狙いとしているのがこの

「観光交流博士」の称号と名刺の贈呈です。この名刺がその趣旨に沿って活用され、結果として施設の利用度数も挙がるのがこの名刺の評価に繋がります。

2年間の継続により、利用度数を挙げられる方と、全く挙がらない方に二極化してきたようです。名刺を活用いただいている方からは強い支持をいただいているこの事業を今後とも継続してゆくためには

名刺贈呈させていただく方を見直し、利用実績の挙がる人へシフトすること  
利用特典をいただける施設を拡大すること

名刺贈呈者の拡大により増える負担を軽減するための協賛企業の募集  
を検討することは不可欠と思われれます。

## 2. 「みんなで創るひろしま観光ポスター」製作事業

### イ) 募集要項

～ 広島県の郷土愛を育む～

### 「みんなで創るひろしま観光ポスター」 募集要項

広島経済同友会

1500万人委員会

委員長 河野 高信

広島経済同友会が、平成14年から観光振興に取り組む当たり、留意したことが2つあります。それまで、観光振興については、提言だけして終わり、の繰り返しは山ほどありますが、それでは何も変わらないという現実を踏まえ、

イ. ないものねだりをすることなく、今あるものでできる取り組みを考え

ロ. それまでどこも誰もやったことがないことに取り組む姿勢で

実践してきました。

その過程で、狙い通りの成果をあげられたもの、そうでないものもあり多くを学び、いくつかの重要な原則を学びました。

その1が、動くものを観光資源化するというので、

平成15年、広島市内を巡るループバス

平成16年、山陽本線、呉線を巡るループトレイン

平成18年、しまなみ海道を巡るループトレイン+高速艇

を、期間限定で実践して参りました。

そして、その2が地元の人・地域の人を主役にする、ということです。

#### 1. 事業趣旨

観光振興の主役は地域の「人」であることを学び、広島経済同友会では観光に職業として携わられている人に、また多くのご来訪の方と接する職業の方に【ひろしま観光交流博士】の称号を贈呈し支援する取り組みに携わっています。

他方、地域に住む「人」の中で、観光に直接携わらない、来訪いただく方とも接することの少ない人たちもおられます。そのような「人」にも、地元を誇りをもっていたら郷土愛を育んでいただくために何が必要かを検討の結果、「ひろしま」のイメージを高めるポスターを製作し、そのポスターを県外のみならず、市内県内のいたるところに掲示することがその目的を達する手段になるであろうとの結論に至りました。

観光は、ご来訪いただく方のためだけのものではなく、地元の人々が誇りをもてるためにも必要なものです。地元の多くの人々の目に、美しく表現された、広島を代表するポスターが映ることが、地元を明るくし、地元を誇りを感じていただく、そして郷土愛を育んでいただくことに繋がるものと考えます。私どもの取り組みは、

地元に住む人が、地元を誇りに感じていただけるポスター

ご来訪いただいた方に歓迎の気持ちを発信するポスター  
ひろしまのイメージをアップさせるポスター  
広島県内の多くの施設の掲示協力を得やすい内容のポスター  
(特定の地域色の強すぎるものは難しいです)  
観光ポスターコンクールに出品できるポスター

をめざします。

この事業趣旨に沿う優秀なる作品を、広く広島に住み、広島のよさをよくご存知の皆様から応募をいただきたいと考えております。みんなで考えることから始めたい、一人でも多くの県民市民の皆様にそのようにお感じいただくことも、今回の事業の重要なねらいの一つです。

2. 主催団体 広島経済同友会「みんなで創るひろしま観光ポスター」製作委員会  
指名委員18名に審査員としてご就任いただいております。

その中に、各局女性アナウンサーの方5名の方にもご就任をいただいております。この5人の皆様には、第1次選考、最終選考をお願いいたしておりますが、特に第1次選の皆様は、この5人だけで、同友会代表幹事も、私も事務局長も介在せず、純粹に、5人の皆様のご判断により選んでいただく予定です。過去の同友会の観光振興取り組みにご参加いただいた方は、女性が大勢でした。地元の意識高揚のこの取り組みも、やはり反響いただき、ご理解いただけるのは女性のかたであろうと考えてのご依頼です。併せて、各アナウンサーの皆さんは、職業的に、県内市内のさまざまな文化、伝統、などを見てきておられバランス感覚も最もすぐれておられる方々です。今回の取り組みの重要な使命を、持っていただいております。

3. 申し込み・お問い合わせ先

〒730-0011

広島市中区基町5-44

広島経済同友会事務局内

「みんなで創るひろしま観光ポスター」製作委員会

082-227-5730

(平日午前9時~午後5時)

4. 応募期間 平成19年6月25日~平成19年8月31日まで  
上記事務局に郵送でご応募下さい。(当日消印有効)

5. ポスターサイズ B1版縦、B2版縦、B3版横 (3種類を印刷予定)

6. 応募作品サイズ A3版縦 連張り用企画も可

7. 題材・表現方法 上記事業趣旨に沿うものであり、地域の施設などが、掲示に積極的に協力いただける美感情、内容上、優れた未発表のものに限ります。写真、イラスト、キャラクターなど、表現方法は限定しません。広島経済同友会が、過去実施して参りました「広島三昧倶楽部」のロゴを入賞作品には入れさせていただきますことをご了承下さい。「広島三昧倶楽部」ロゴは、同友会ホームページでご確認できます。

8. 留意事項      ポスター製作に係る費用は応募者負担とします  
提出されたポスターは返還いたしません  
入賞されたポスターの著作権は全て、ひろしま観光ポスター製作委員会に帰属することとします。  
選考後であっても、本要綱に反するものであることが判明した場合、受賞資格は取り消します。

9. 採      否      製作委員会一次審査会で厳正なる審査を行い数品に選抜し、製作委員会審査員全員による投票により決定いたします。

10. 賞      金      最優秀賞      1点      賞状と50万円（印刷予定）  
優秀賞      2点      賞状と10万円

ロ) 報道記録

(新聞記事)

## 八) 総括

観光施設の建設・誘致がハードの観光振興策としますと、地元の「人」のホスピタリティーの向上はソフトの観光振興策の向上と言えます。

本年の取り組みである「ひろしま観光交流博士」称号名刺贈呈事業が観光関連産業に従事しておられる地元の人を支援する取り組みであり、「ひろしま観光ポスター」製作事業は非観光関連産業従事者及び一般県民市民の人に郷土愛を育んでいただく、地元で自信を持っていただく取り組みで、まさしくソフトの観光振興策の両輪をなす取り組みでした。

事業の発表は、従前のように地元新聞テレビで報道として取り上げていただいたことで募集開始から締め切りまで約2ヶ月しか時間はありませんでしたが、想定を超える67点110枚の多くのレベルの高い作品の応募をいただくことができました。NHKを含む地元放送局女性アナウンサーの皆さん5名による、一次審査、

1500万人委員会及び実行委員会委員によりまず最終審査により、最優秀、優秀の3作品が選考されました。また、いい作品がまだあるということで、急遽、広島県飲食業生活衛生同業組合理事長賞、広島県菓子工業組合理事長賞、広島市ホテル旅館組合理事長賞の3点をそれぞれの団体から寄贈いただき追加表彰させていただきました。最優秀賞受賞作品は8,000枚を印刷し、JR西日本、広島電鉄、広島バス他の企業の皆様のご好意により駅、車内に掲示をいただきました。また、日本銀行広島支店、三越百貨店等同友会会員企業の多くの皆様の施設にも協賛掲示をしていただきました。表彰を受けた6点をはじめ約50点の応募作品を、広島市内5ヶ所にて巡回展もさせていただき広く市民、県民の皆様にご披露させていただくことができました。更に確信を持ってましたことは、日ごろ広告宣伝業種に従事しておられる皆さんや、専門学校生徒さんに、このコンテストを通じて郷土の魅力を探していただくという目論見がかなり成果をあげられた、又今までにない一般応募形態のコンテストであり、自分の出したい作品で勝負できる機会として認知される事業となるであろう、ということです。この事業の取り組みが応募される皆さんの業界に意欲と元気を提供し、特にその業界の若手の皆さんにとって、いい力試しのチャンスと捉えていただけることを予感しました。また、作品を見ていただく県民の皆さんも、ポスターを見て郷土を見直す機会となると感じました。

残念なことは、市内県内いたるところでこのポスターを見かけたというほどの露出度ではありませんでした。8,000枚という枚数でもまだ不十分、それと掲示協力いただく施設についても拡大努力の余地は多分にあると思います。

経済同友会の性格として、提言団体であり事業団体ではありませんので、いつまでも同一事業を継続するという事は馴染みませんが、企業協賛を募り継続するか引き受け団体を育てる等の手法により、事業の定着を図る価値ある事業であることを総括としてご報告申し上げます。



二) 応募作品集      この報告書に掲載を承諾いただきました応募者の作品のみ  
掲載しております。